

観覧日： かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

山梨を襲った水害について調べてみよう

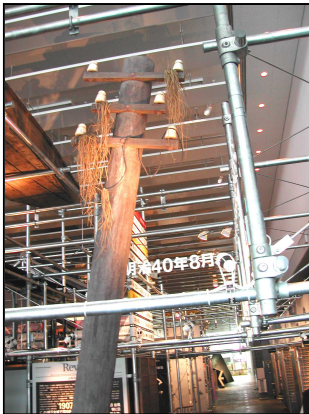
水害の歴史が書かれているパネルの中から、次の4回の水害を調べてみよう。

1907(明治40)年 死者()人 1959(昭和34)年 死者()人
1912(大正元)年 死者()人 1966(昭和41)年 死者()人



死者の他に、どんな被害があったのでしょうか？

特に被害の大きかった1907(明治40)年の大水害について調べてみましょう。



なぜ電柱の上に枯れ草が付いているのでしょうか。



どんなことを知らせたのでしょうか。



皆さんの背の高さと比べてどうですか。

この船は、どんな時に使ったのでしょうか？



機械から流れる水害の時の話を聞いた感想を書いてみましょう。

[Large empty space for writing a response to the question about the mechanical device.]

明治40年の水害で被害を受けた三千人以上の人たちは山梨を離れて行きました。どこに移り住んだでしょう？



()

観覧日： かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

おそ 山梨を襲った水害について調べてみよう

水害の歴史が書かれているパネルの中から、次の4回の水害を調べてみよう。

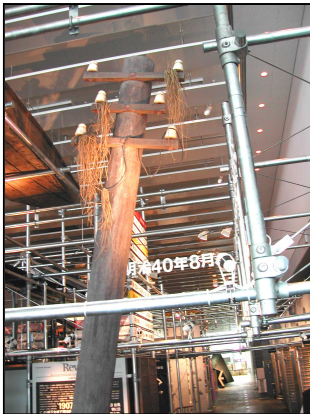
1907(明治40)年 死者(233)人 1959(昭和34)年 死者(90)人
1912(大正元)年 死者(111)人 1966(昭和41)年 死者(175)人



死者の他に、どんな被害があったのでしょうか？

堤防の決壊，農作物への被害，家屋への浸水，山崩れ，赤痢の流行，交通路の途絶・・・など。

特に被害の大きかった1907(明治40)年の大水害について調べてみましょう。



なぜ電柱の上に枯れ草が付いていると思いますか。

町の中まで洪水がきて，草がついている高さまで水が上がった。 など



どんなことを知らせたのでしょうか。

洪水の水によって，水の中に孤立した人々がいた。数日後，ようやく食糧が到着したが，それを知らせるために，障子にこのようなメッセージを書き，かがり火で照らして，それらの人々に知らせた。 など。



皆さんの背の高さと比べてどうですか。

わたしの背の高さと同じくらいまで水が来たんだと思った。 など。



この船は、どんな時に使ったのでしょうか？

水害用に作製されたもの。
この舟は、西山梨郡朝井村（甲府市下今井町付近）で使用されていたもの。 など。



機械から流れる水害の時の話を聞いた感想を書いてみましょう。

この蓄音機型の装置では、一回の操作ごとに1つの証言を聞くことができる。証言は全部で3種類あるので、他の証言が聞きたかったら、一つの証言が終わってから、もう一度、同じ操作をするといい。

明治40年の水害で被害を受けた三千人以上の人たちは山梨を離れて行きました。どこに移り住んだでしょうか？



(北海道)

観覧日：かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

明治40年の大水害 その1

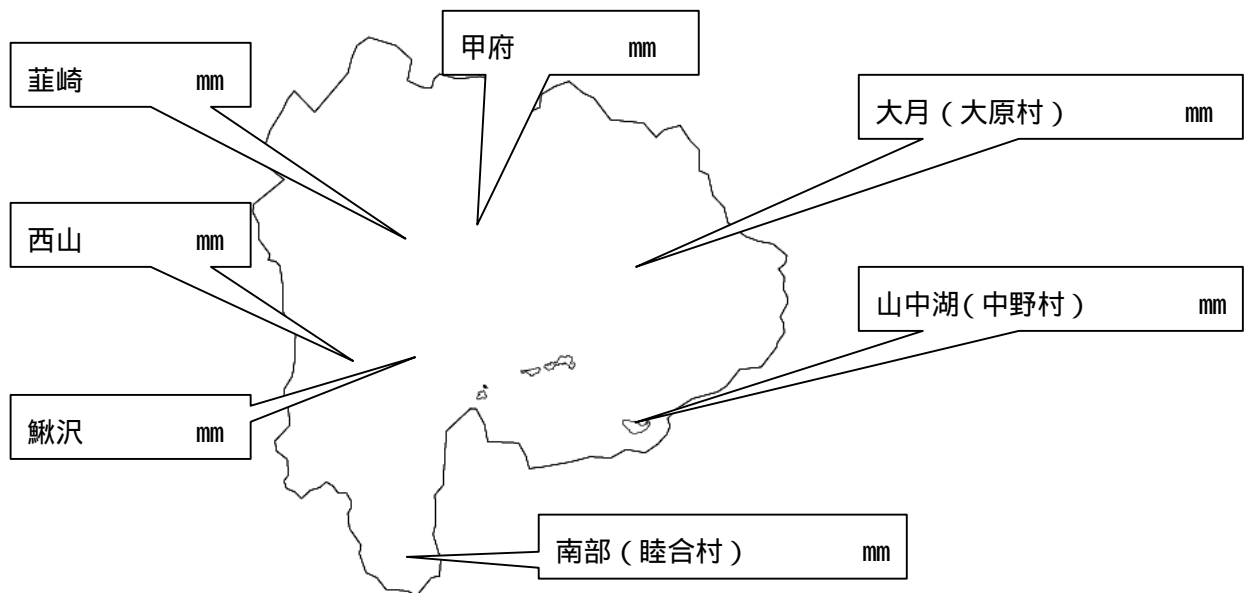


山梨県は山地の割合が多く、河川の数も多いので、古くから水害に悩まされてきました。特に、明治40年（西暦 年）8月21日の夜半、2つの台風が日本列島に近づき、山梨県では22日から26日にかけて記録的な大雨になりました。この大雨によって、県の東部を中心に土砂崩れや洪水が多発し、大きな被害を受けました。

明治40年8月の大水害での被害を調べてみましょう。

壊れたり、流れてしまったりした家	戸
埋まってしまうたり、流れてしまったりした田畑や宅地	ha
山崩れ	か所
水害によって亡くなった人の数	人

明治40年8月22日から26日まで、山梨県の各地ではどれだけの雨が降ったか、調べてみましょう。（ヒント：山梨県の地図の裏に書いてあるよ）



明治40年の大水害のとき、北都留郡大原村（大月市）での雨の様子

8月22日から26日までの5日間に降った雨の量は、一年間の雨の量（年間降水量）の（ ）%にもなりました。

8月23日には一日に降った雨の量が最大になり、（ ）mmもの雨が降りました。（最大日雨量）

観覧日：かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

明治40年の大水害 その1

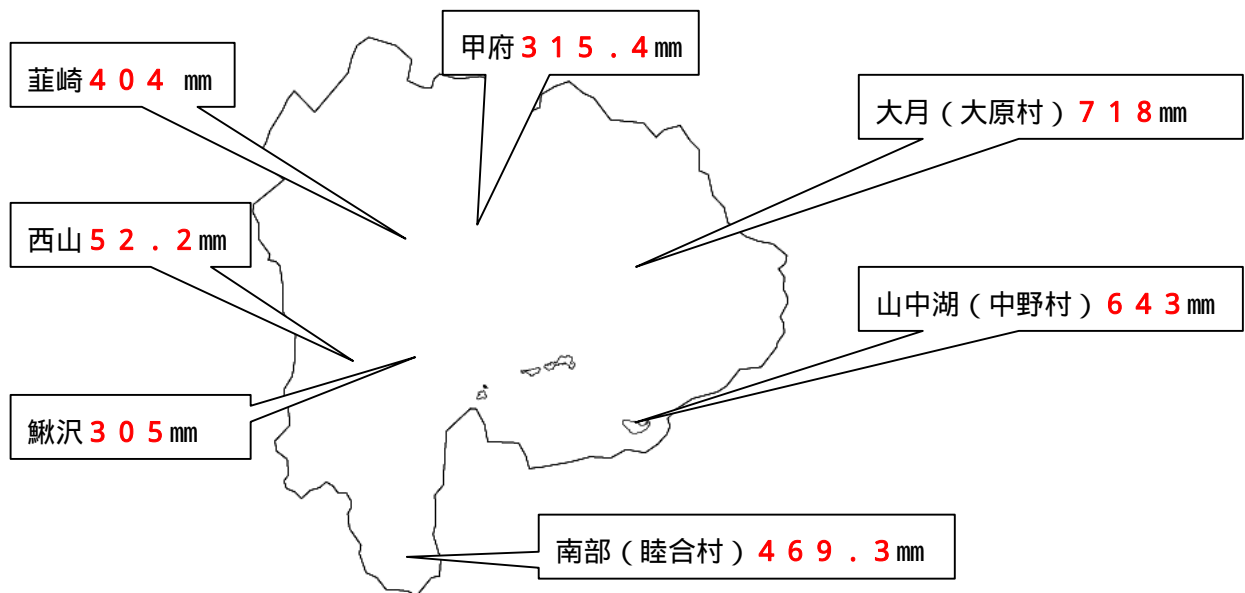


山梨県は山地の割合が多く、河川の数も多いので、古くから水害に悩まされてきました。特に、明治40年（西暦 **1907**年）8月21日の夜半、2つの台風が日本列島に近づき、山梨県では22日から26日にかけて記録的な大雨になりました。この大雨によって、県の東部を中心に土砂崩れや洪水が多発し、大きな被害を受けました。

明治40年8月の大水害での被害を調べてみましょう。

壊れたり、流れてしまったりした家	12000 戸
埋まってしまうたり、流れてしまったりした田畑や宅地	650 ha
山崩れ	3353 か所
水害によって亡くなった人の数	233 人

明治40年8月22日から26日まで、山梨県の各地ではどれだけの雨が降ったか、調べてみましょう。（ヒント：山梨県の地図の裏に書いてあるよ）



明治40年の大水害のとき、北都留郡大原村（大月市）での雨の様子

8月22日から26日までの5日間に降った雨の量は、一年間の雨の量（年間降水量）の（ **51.8** %）にもなりました。

8月23日には一日に降った雨の量が最大になり、（ **415** mm）もの雨が降りました。（最大日雨量）

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

明治40年の大水害 その2

展示されている写真の中から次の写真を探して、調べてみましょう。

右の写真は明治40年の水害時の東山梨郡神金村(甲州市)付近の写真です。遠くの山々で白く見えるところがあります。それはどんなところでしょう？



Blank box for writing an answer to the question about the white mountains in the photograph.



左の写真は、明治40年の水害時、東八代郡石和町(笛吹市)にあった柿の木の写真です。この柿の木にはどんな言い伝えが残されていますか？

Blank box for writing an answer to the question about the persimmon tree's legend.

右の写真は、明治40年の水害に関係のある写真です。どんな写真ですか？

Blank box for writing an answer to the question about the photograph's relation to the flood.



発展 明治40年の水害は、そのころの山梨の時代背景が大きな被害をもたらしたといわれています。どんな背景が大被害をもたらしたのか、展示を見たり、ビデオを視聴したりして調べてみましょう。

Blank box for writing an answer to the extension question about the historical background of the flood.

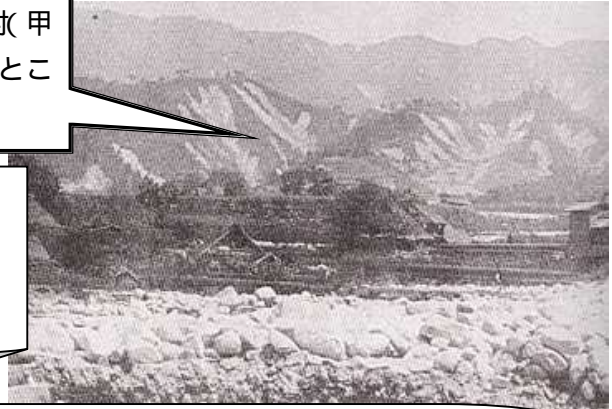
観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

明治40年の大水害 その2

展示されている写真の中から次の写真を探して、調べてみましょう。

右の写真は明治40年の水害時の東山梨郡神金村(甲州市)付近の写真です。遠くの山々で白く見えるところがあります。それはどんなところでしょう？

山くずれを起しているところ(展示解説には『山岳崩壊の光景』とある) など。



左の写真は、明治40年の水害時、東八代郡石和町(笛吹市)にあった柿の木の写真です。この柿の木にはどんな言い伝えが残されていますか？

96人もの人が登って、命をつないだと伝えられている。しかも、木の上で出産した女性もいたそう。その木には、ヘビやムカデなどの虫たちも登り、難を逃れた。 など。

右の写真は、明治40年の水害に関係のある写真です。どんな写真ですか？

山梨県罹災移住民入植記念撮影
明治40、43年の大水害のために、生活の全てを失った3000人もの人々が北海道に移住した。 など。



発展 明治40年の水害は、そのころの山梨の時代背景が大きな被害をもたらしたといわれています。どんな背景が大被害をもたらしたのか、展示を見たり、ビデオを視聴したりして調べてみましょう。

江戸時代には、人々は山林を入会地として協同で大切に管理していたのに、明治以降、産業の発展にともない薪や木炭の需要が増大したり、入会地が皇室の御料林となり、入会が制限されたため、かえって盗伐や濫伐が横行し、山林が荒れてしまい、山林の保水力が著しく低下したのが水害を引き起こした大きな原因であると考えられる。

かんらんび
観覧日：

年 月 日

学校 年 氏名：



展示の年表を見て、明治以降に山梨県で起きた主な水害を調べましょう

年代	水害の被害状況
1868年(明治元)	7月 釜無川・御勅使川などの大洪水により、中郡を中心に浸水被害。
1876年(明治9)	9月 暴風雨により荒川、桂川、富士川、釜無川が増水、堤防が計()箇所で決壊。死者7人。農作物に大被害。
1878年(明治11)	9月 豪雨により笛吹川、富士川などで洪水。堤防決壊()箇所。道路流没1500間。
1881年(明治14)	9月 暴風雨により富士川、釜無川、笛吹川などで堤防が決壊、農作物が大被害。
1882年(明治15)	9月 豪雨により県下の各河川で洪水、死者・行方不明者6人、堤防決壊()箇所、堤防筋は惨状を極める。
1885年(明治18)	8月 暴風により県下各河川が氾濫。死者()人。山岳等の崩壊1900箇所。
1892年(明治25)	7月 笛吹川、釜無川、御勅使川流域で大洪水。死者6人。山岳崩壊箇所多数。
1896年(明治29)	9/6~12 台風豪雨により釜無川流域、特に御勅使川流域で大出水。塩川上流では大崩壊が発生。死者()人。
1898年(明治31)	9/4~7 滝のような豪雨で県下の各河川が氾濫。北巨摩郡を中心に山岳の崩壊多数。死者()人。災害後()が流行。
1907年(明治40)	8/22~28 台風により県下全域で河川が氾濫し、未曾有の災害となる。特に日川、重川、御手洗川流域で被害甚大。死者()人。家屋全壊・流出()戸。
1910年(明治43)	8/2~17 台風と前線による連日の豪雨で荒川、塩川が大氾濫。甲府市をはじめ盆地の南部一帯で甚大な被害。死者24人。
1912年(大正元)	9/22~23 台風により中巨摩郡で被害甚大。死者()人。負傷者111人。農作物や家畜の被害も甚大。
1920年(大正9)	8/2~6 台風豪雨により道志村で日向山が大崩壊。交通路の途絶で村の通信は対岸と()で行う。死者14人。
1934年(昭和9)	9/18~21 ()台風により県下全域で被害。死者13人。家屋全壊507戸。農作物被害は25,892haにのぼり、()はほぼ全滅。
1935年(昭和10)	8月 台風により死者7人。床下浸水28戸。田畑浸水60ha以上。9/21~26台風と前線による記録的豪雨(総雨量 mm)で全県に著しい被害。死者39人。各所で堤防・道路の流出・決壊・破損。
1936年(昭和11)	9/26 終夜継続の大雨により()峠で山崩れが発生、14人が生き埋めとなる。全県で死者22人。
1945年(昭和20)	10/3~5 前線・台風豪雨により戦時中の樹木過伐で荒廃した山林が各所で崩壊。土砂倒木の流出で河川が氾濫。死者16人。
1947年(昭和22)	9/13~15 ()台風により笛吹川上流および重川・日川・御手洗川・笹子川流域で大被害。死者16人。
1950年(昭和25)	8月 豪雨により笛吹川上流部および重川・田草川また南都留郡谷村町で大きな被害。死者7人。行方不明者1人。家屋浸水1471戸。土木被害7億3000万円。
1959年(昭和34)	8/12~14 台風7号により1907年(明治40年)以来の大被害。特に釜無川・大武川・早川・重川で土石流による被害甚大。死者()人。負傷者794人。被害総額314億7300万円
1961年(昭和36)	9/24~26台風15号()台風により被害が拡大。死者15人。被害総額89億2800万円
1966年(昭和41)	6/23~29 梅雨前線豪雨により東山梨郡の大沢山で崖崩れ、倒木と土砂が西の沢をせき止め、29日土石流となって牧丘町()地区を襲い、死者5人。
1966年(昭和41)	9/21~25 前線・台風26号豪雨のため足和田村()地区等で土石流が発生。死者()人。被害総額275億円。
1982年(昭和57)	8月 台風10号豪雨により大月市浅川地区、秋山村無生野地区で土石流が発生。早川の氾濫で早川町の一部が孤立。死者7人。
1983年(昭和58)	8月 5号・6号と続いた台風の豪雨により大月市、富士吉田市の東部で被害拡大。道路・鉄道等全交通機関が普通。死者3人。
1991年(平成3)	8/1 台風12号の豪雨で最大日雨量()mm。大月市の国道20号で土砂崩壊。死者7人。被害総額127億5170万円。
2000年(平成12)	9月 秋雨前線と台風14号による大雨で県の中西部に被害集中。床上浸水102棟。床下浸水525棟。被害総額88億2700万円。



観覧日： かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

展示の年表を見て、明治以降に山梨県で起きた主な水害を調べましょう

年代	水害の被害状況
1868年(明治元)	7月 釜無川・御勅使川などの大洪水により、中郡を中心に浸水被害。
1876年(明治9)	9月 暴風雨により荒川、桂川、釜無川が増水、堤防が計(676 箇所)で決壊。死者7人。農作物に大被害。
1878年(明治11)	9月 豪雨により笛吹川、富士川などで洪水。堤防決壊(61 箇所)。道路流没1500間。
1881年(明治14)	9月 暴風雨により富士川、釜無川、笛吹川などで堤防が決壊、農作物が大被害。
1882年(明治15)	9月 豪雨により県下の各河川で洪水、死者・行方不明者6人、堤防決壊(4411 箇所)、堤防筋は惨状を極める。
1885年(明治18)	8月 暴風により県下各河川が氾濫。死者(29 人)。山岳等の崩壊1900箇所。
1892年(明治25)	7月 笛吹川、釜無川、御勅使川流域で大洪水。死者6人。山岳崩壊箇所多数。
1896年(明治29)	9/6~12 台風豪雨により釜無川流域、特に御勅使川流域で大出水。塩川上流では大崩壊が発生。死者(33)人。
1898年(明治31)	9/4~7 滝のような豪雨で県下の各河川が氾濫。北巨摩郡を中心に山岳の崩壊多数。死者(150 人)。災害後(赤痢)が流行。
1907年(明治40)	8/22~28 台風により県下全域で河川が氾濫し、未曾有の災害となる。特に日川、重川、御手洗川流域で被害甚大。死者(233)人。家屋全壊・流出(5767)戸。
1910年(明治43)	8/2~17 台風と前線による連日の豪雨で荒川、塩川が大氾濫。甲府市をはじめ盆地の南部一帯で甚大な被害。死者24人。
1912年(大正元)	9/22~23 台風により中巨摩郡で被害甚大。死者(50)人。負傷者111人。農作物や家畜の被害も甚大。
1920年(大正9)	8/2~6 台風豪雨により道志村で日向山が大崩壊。交通路の途絶で村の通信は対岸と(矢文)で行う。死者14人。
1934年(昭和9)	9/18~21(室戸 台風)により県下全域で被害。死者13人。家屋全壊507戸。農作物被害は25,892haにのぼり、(ブドウ)はほぼ全滅。
1935年(昭和10)	8月 台風により死者7人。床下浸水28戸。田畑浸水60ha以上。 9/21~26 台風と前線による記録的豪雨(総雨量 420 mm)で全県に著しい被害。死者39人。各所で堤防・道路の流出・決壊・破損。
1936年(昭和11)	9/26 終夜継続の大雨により(笹子 峠)で山崩れが発生、14人が生き埋めとなる。全県で死者22人。
1945年(昭和20)	10/3~5 前線・台風豪雨により戦時中の樹木過伐で荒廃した山林が各所で崩壊。土砂倒木の流出で河川が氾濫。死者16人。
1947年(昭和22)	9/13~15(カスリン 台風)により笛吹川上流および重川・日川・御手洗川・笹子川流域で大被害。死者16人。
1950年(昭和25)	8月 豪雨により笛吹川上流部および重川・田草川また南都留郡谷村町で大きな被害。死者7人。行方不明者1人。家屋浸水1471戸。土木被害7億3000万円。
1959年(昭和34)	8/12~14 台風7号により1907年(明治40年)以来の大被害。特に釜無川・大武川・早川・重川で土石流による被害甚大。死者(90 人)。負傷者794人。被害総額314億7300万円 9/24~26 台風15号(伊勢湾 台風)により被害が拡大。死者15人。被害総額89億2800万円
1961年(昭和36)	6/23~29 梅雨前線豪雨により東山梨郡の大沢山で崖崩れ、倒木と土砂が西の沢をせき止め、29日土石流となって牧丘町(北原 地区)を襲い、死者5人。
1966年(昭和41)	9/21~25 前線・台風26号豪雨のため足和田村(根場 地区)等で土石流が発生。死者(175 人)。被害総額275億円。
1982年(昭和57)	8月 台風10号豪雨により大月市浅川地区、秋山村無生野地区で土石流が発生。早川の氾濫で早川町の一部が孤立。死者7人。
1983年(昭和58)	8月 5号・6号と続いた台風の豪雨により大月市、富士吉田市の東部で被害拡大。道路・鉄道等全交通機関が普通。死者3人。
1991年(平成3)	8/1 台風12号の豪雨で最大日雨量(395 mm)。大月市の国道20号で土砂崩壊。死者7人。被害総額127億5170万円。
2000年(平成12)	9月 秋雨前線と台風14号による大雨で県の中西部に被害集中。床上浸水102棟。床下浸水525棟。被害総額88億2700万円。

